



令和5年12月15日

(広報資料)

京都市文化市民局
〔 担 当 元離宮二条城事務所 〕
TEL (075) 841-0096

文化庁移転記念事業

「二条城障壁画 展示收藏館」原画公開 令和5年度冬期

松に囲まれ春を待つ ～ 〈黒書院〉三の間～

元離宮二条城では、「二条城障壁画 展示收藏館」において、年4期にわたり二の丸御殿障壁画（重要文化財）の原画を公開しています。冬期原画公開「松に囲まれ春を待つ ～ 〈黒書院〉三の間～」の開催について、その見所をお知らせします。本展は、〈黒書院〉での対面の相手が、対面を「待つ」場であった三の間に描かれた障壁画を紹介するものです。

是非、この機会に二条城へお越してください。

1 会期

令和5年12月21日（木）～令和6年2月21日（水）〔60日間〕

※12月29日～31日は休館

2 入館時間

午前9時～午後4時30分（閉館は午後4時45分）

※ 二条城の入城受付は、午後4時まで。

3 会場

元離宮二条城内 二条城障壁画 展示收藏館

（〒604-8301京都市中京区二条通堀川西入二条城町541番地）

※ 二条城にお越しの際は、公共交通機関を御利用ください。

4 入館料

100円（未就学児無料）

※ 別途入城料が必要です。

※ 市内に在住・在学の小中学生、市内在住の70歳以上の方（敬老乗車証等で住所、年齢を確認できる方）、各種障害者手帳等をお持ちの方については、入館料は不要です。

5 公開作品

(1) 〈黒書院〉三の間障壁画《松図（まつず）》、《浜松図（はままつず）》（障壁画面数：33面）

(2) 解説及び見所 裏面のとおり

6 お問合せ先

京都市文化市民局元離宮二条城事務所

〔 〒604-8301 京都市中京区二条通堀川西入二条城町541番地
TEL：(075) 841-0096 FAX：(075) 802-6181 〕

松に囲まれ春を待つ

～〈黒書院〉三の間～

〈黒書院〉は、「^{こひろま}小広間」とも呼ばれ、高位の公家や、徳川家に近い大名が対面しました。一の間は将軍が、二の間は相手が座った部屋で、今回、障壁画を公開する三の間は、対面を控えた相手が待機した部屋と考えられています。この三の間の障壁画は、恒久的な繁栄を象徴する松を中心的なテーマとしながらも、長押の上下で画面が分かれ、長押の上には《浜松図》が、長押の下には、《松図》が描かれます。

長押下の《松図》は、松とともに、^{みずあおい}水葵、^{りんどう}竜胆、^{きぎ}稲刈り後の田んぼ、鷺など、晩夏から冬にかけての季節を示すモチーフが描かれます。上述の通り、三の間は相手が待機する部屋であり、対面の時には、桜咲く春の景色が描かれる二の間へ入りました。三の間から二の間へ入る際の、冬から春へという季節の変化が、障壁画によって視覚的に演出されており、ここには、対面の場を、晴れやかな「春」として印象付けたいという意図が感じられます。

長押上の《浜松図》の浜辺は、海に突出する細長い地形で描かれており、この形は、^{あまのはしだて}天橋立を思わせます。天橋立は、和歌や能、絵画の題材となってきた名所であり、室町幕府の将軍の屋敷の障壁画にも描かれたモチーフです。この《浜松図》が、天橋立の景色として描かれたのであるならば、徳川幕府は、二の丸御殿を「将軍」の屋敷として、ひいては、自らを室町幕府の継承者として、この部屋に入る人々に示そうとしたのかもしれませんが。

これら三の間の障壁画からは、〈黒書院〉の対面の場を、徳川幕府が如何に演出しようとしたのかを思い浮かべることができます。対面を控えた人々が見た障壁画を、ぜひ、ご覧ください。



〈黒書院〉三の間障壁画《松図》部分



〈黒書院〉三の間障壁画《浜松図》部分